

# 小林製薬支援受け 認知症予防学講座

## 鳥大医学部、協定結ぶ

鳥取大医学部（米子市西町）は小林製薬（大阪市）

の支援を受け、寄付講座「認知症予防学講座」を開設した。22日、両者が同学部付属病院で協定を結んだ。同学部が民間企業と寄付講座を開設するのは2例目。

設置期間は4月から2025年3月までの3年間で、寄付予定額は計6千万円。同学部で認知症予防に長年取り組み、3月末で定年退職した日本認知症予防学会代表理事の浦上克哉氏が寄付講座教授を務める。

講座では認知症予防の研

究を中心に正しい専門知識

を持った人材を育成するほ

か、浦上氏が開発に携わっ

た「とっとり方式認知症予

防プログラム」の普及啓発

など予防活動に取り組む。

中島広光学長と小林章浩

社長が協定書に調印。中島

学長は「高齢化の進んだ日

本において認知症の早期発

見と予防は大事。締結をき

っかけに全国に医療貢献し

たい」と話した。

小林社長は「認知症予防

は当社としても最も注力し

ている分野」と強調。同社

は、国内トップシェアを誇

る芳香剤のノウハウを生か

し昨年、香りによる認知機

能スクリーニングキットを

商品化した。

浦上寄付講座教授は「認

知症予防についてはエビデ

ンス（科学的根拠）がまだ

乏しく、講座を通して積み

重ねていきたい」と話した。

（上本康成）



協定書を手にする（左2人目から）中島学長、小林社長、浦上寄付講座教授。22日、米子市西町の鳥取大医学部付属病院